



# 花緑輝

令和2年度  
学校報5月号④  
大仙市立  
太田中学校

0000000  
000001X

## 大仙市教育アドバイザー来校

大仙市教育委員会の小笠原晃教育アドバイザーが来校し、先生方の授業や生徒の学習の様子をご覧になるとともに、コロナ対策で困っている点や要望についても聞き取りをしてくださいました。先生は、南教育事務所で主任指導主事、大仙市教育委員会で部長を務められ、西仙北中学校の校長でご退任された方です。かつては西仙北中学校の野球部を指導し、一時代を築いた名監督でもあります。



以前よく対戦した鈴木教頭先生がこんなことを話していました。「ディフェンスのいいチームを作る先生で、とにかく1点を取るのが大変だった。0対0で進んで6回の裏、1アウト3塁、1-3からエンドランをかけられ、1点取られて負けた苦い記憶がある。試合後に『おめなば外さねと思ってらった』と言われた…。」

ちょっと脱線しましたが、見る目確かで親身にアドバイスをしてくださる方です。研究主任の奈良先生の案内で、全クラスの授業を参観していただきました。



授業者に視線が集まっています。



流れが分かる丁寧な板書です。



集  
は語彙が豊  
です。



課題に真剣に取り組んでいます。

「休校明けで、少ない授業日数にもかかわらず、どの学年も落ち着いた態度で学びに向かっている姿に感銘を受けました。」  
(小笠原 晃 アドバイザー)

## 黄金比は3:7

### ～再び家庭学習の話～

曜日を決めて各学級の家庭学習ノートを見せてもらっています。学年差・個人差はありますが、概ねGoodです。

●成績良質な秋田県では、子供たちに家庭での学習習慣が付いていることも大きい。(他県の方々が驚くところ。)そしてそれは、小学校低学年の時の担任の先生やおうちの方のおかげです。

●ただ、中学生になれば、それに合った家庭学習に進化しないとイケません。ノートを埋める作業っぽい学習だと受け取る利益が少なくなります。そこで一言×3+結論!

#### お得情報 1

【インプット→教科書や参考書を読む  
アウトプット→問題集や過去問を解く  
記憶においては、インプットよりもアウトプットが重要(諸説あります。)

#### お得情報 2

問題を解く=知識を使うことで、脳は記憶に残そうとする。(諸説あります。)

#### お得情報 3

インプットとアウトプットの黄金比は3:7!(諸説あります。)

参考:「学びを結果に変えるアウトプット大全」  
(樺沢紫苑 著 サンクチュアリ出版)

結論:家庭学習では  
**間違ってもいいから  
どんどん問題を解こう!**

## 笑門来福

●みんなマスクをしているので誰が誰だかわからなくなることがありました。連休明けに体育館で、3年生の女子生徒の名前がパッと出てこなくて「あれ?あれ?」としていたら「3年の〇〇〇です。明日テストに出るのでしっかり覚えてください!」と言われました。テストには出ませんでした。切り返しにセンスを感じました。



●理科の時間に渋谷先生が、「テーブルごとに話し合ったことを発表してもらいます。発表者を決めてください。」と言った。そしてある班のある生徒がすぐに「ハイ!」と挙手。主体的だなと感心していたら、ホワイトボードを持つ係に立候補したのでした。でも、聞く人のことを意識した見事なホールドでした。



お:おっと検温!  
お:お〜いマスク  
た:頼むよ手洗い  
中:中だるみ注意